

看護職員募集要項 2021

あなたらしく
自分らしく



帯広協会病院

社会福祉法人 北海道社会事業協会 帯広病院

地域に根ざした 確かな安心を

北海道社会事業協会の理念

私どもは医療・保健・福祉の従事者として力を合わせ、心のかもった医療、看護、介護の実践に努めます。

帯広病院の理念

地域住民が満足できる医療を提供し、医療機関・施設との連携及び機能分担を図り、より安全・安心な医療の充実に努めます。

病院長ごあいさつ

当院は此所十勝、帯広で住民から信頼され、親しまれて地域に密着してきた総合病院です。この地に誕生してから80年の歴史を刻み、多くの方々に育まれて参りました。この地で完結する医療の提供が当院の役割と考えます。

信頼される病院であり続ける為には、良質な医療を提供し、患者さんの要望に応えられなければならないと考えます。そのために優秀な人材が必要であると考えてきました。

一人の職員にできる事は限られています。職種の垣根を越えて職員が集まりチームとして活動することで、持てる力を倍増し、より高度な医療をより多くの患者さんに提供することが、当院の目指す方向だと考えています。

ですから、私は一人一人の職員とその家族を含め大切にしたいと考えています。職員が誇りを持って、全力で仕事に打ち込める、そんな職場環境を創る事に注力しています。皆さんが働き続けたいと思う職場にしたいと考えています。

まだ発展途上の職場です。でも、もっと成長できる職場だと信じています。理想の職場環境に少しでも近づけるよう前進を続けます。そのためには皆さんの力と熱意が必要です。ぜひ当院で君の力を存分に発揮してください。



病院長 阿部 厚憲

病院の概要

- 設立 大正11年(1922年)7月
- 病床数 300床
 - 一般病棟 252床(7対1入院基本料)
 - 48床(地域包括ケア病棟入院料)
- 診療科 17診療科
 - ・総合診療科 ・消化器内科 ・循環器内科
 - ・呼吸器内科 ・腎臓内科 ・小児科
 - ・外科 ・脳神経外科 ・整形外科
 - ・泌尿器科 ・産婦人科 ・耳鼻咽喉科
 - ・眼科 ・麻酔科 ・リハビリテーション科
 - ・精神科 ・救急科
- 職員数 606名(内、看護職員313名)



院内のご案内

—看護部の紹介—

8F 第8病棟
＜48床＞

地域包括ケア

急性期治療を經過し、病状が安定した患者さんに対し、リハビリテーション科やソーシャルワーカー、ケアマネジャー等と連携し、安心して在宅や介護施設等へ復帰できるよう支援しています。患者さんの「住み慣れた家に帰りたい」との思いを尊重し、個々の生活に合わせた在宅復帰を目指しています。

7F 第7病棟
＜60床＞

総合診療科・循環器内科
脳神経外科・麻酔科



6F 第6病棟
＜60床＞

消化器内科・外科
耳鼻咽喉科・形成外科

5F 第5病棟
＜60床＞

整形外科・眼科・泌尿器科

手術目的で入院される患者さんが多いため、入退院が多い病棟です。自宅退院に向けてリハビリを日々頑張っている方も入院されています。一人一人の患者さんとの出会いを大切に、満足して退院していただけるよう日々関わっています。

4F 第4A病棟
＜34床＞

小児科・婦人科

4F

第4B病棟
＜38床＞

産科



3F 中央手術室
中央材料室



手術室では、17名の看護師、医師・臨床工学技士など様々なスタッフと協力し、患者さんが入室から退室まで安全に手術を受けて頂けるよう努めています。

人工透析室
＜18床＞

感染症・重症患者さんの治療に対応できる環境を設備しています。また、病棟と連携し検査や手術目的で入院される患者さんにも対応しています。透析看護認定看護師がおり、その専門的な知識、技術をスタッフの勉強会や患者さんのケアに活かしています。

2F 健診センター

外 来

小児科・外科・産婦人科
耳鼻咽喉科・麻酔科・形成外科
精神科・泌尿器科



外 来
内視鏡検査室

総合診療科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・脳神経外科・整形外科・眼科

1F

救急処置室
中央処置室

突発的な外傷・急性疾患・慢性疾患の急性増悪など様々な状況によって救急処置が必要な患者さんに初期診療での看護の提供を行っています。専門医、各科診療科医師、研修医、看護師、各コメディカルが協力し対応に当たっています。

9F スポーツ医学・心臓リハビリテーションセンター



充実しています！

スポーツ医学

専門外来ならではの細かい指導により高いレベルでの治療だけでなく、ケガをしない身体を作ること目標とし、スポーツ障害の予防やパフォーマンス向上に努めています。

心臓リハビリテーション

心臓リハビリテーションでは、循環器疾患を発症し、安静が必要となった患者さんに対して、筋力やバランス能力の低下が進まないよう細やかな指導に努めています。皆さまに無理なく、適切なメニューを提供し、早期の家庭復帰と、その後の外来フォローを行っています。



帯広市内を眺めながら
リハビリができます。



看護部長ごあいさつ

帯広協会病院へお越しく下さい！！



看護部長 的場 由紀子

募集要項を手にとって頂き、ありがとうございます。看護師としての第一歩をどのような病院でスタートさせようか、検討中の皆さんと思います。是非、自分に合った、不安があっても安心して働ける、そんな病院を選択してください。

皆さんの病院選びの基準は、1 研修のあり様 2 人間関係 3 看護師としての成長(やりがいと楽しさ) と思います。現在当院では、研修プログラムや研修方法を大幅に見直し、人材育成に力を入れています。また、道内7施設の協会病院グループであることを生かし、グループ内でのコラボレーションや当院独自の在宅看護に向けての研修を企画予定しています。その中から、当院で働く楽しさや喜びを感じてもらえるよう、努力中です。まずは百聞は一見に如かず！！当院に足を運んでみてください。

また、高い空、青く澄み切った空に癒されること間違いなし。とから気質とでもいうのでしょうか？他者を受け入れる懐の広い帯広の地を踏んでいただき、「自分らしく あなたらしく」を合言葉にしている当院の雰囲気確かめてください！お待ちしております♡

看護部理念

北海道社会事業協会帯広病院は、地域住民の健康を守ることを目的としています。看護部もこの目的に向かって、質の高い看護を提供し、地域住民の健康に貢献します。

看護部方針

1. 患者さんに寄り添い、満足していただける看護を提供いたします。
2. 急性期から在宅まで、関連機関と連携を取り、継続した看護を提供します。
3. 患者さんの安全を守り、安心して治療が受けられる環境を整え提供します。
4. 専門的知識及び倫理観を高めるための自己研鑽に励み、質の高い看護を提供します。



卒後1年目 研修プログラム

学習の機会を多くし、質の高い看護を提供できる看護師の育成を目指します。

新卒者の方に対しても、地域住民の皆さまの健康レベルの維持及び向上のために貢献できる人材の育成を目指すため、地域医療・在宅訪問を取り組めるようプログラムを検討・構築しています。



平成30年度 新人研修年間計画

(平成31年度は企画中)

	研修名
4月	新人オリエンテーション
5月	輸液ポンプとシリンジポンプの取り扱い
6月	入職後2カ月の振り返り
7月	夜勤前・多重課題シュミレーション
8月	モニター心電図 皮膚管理 大位の移乗と移動
9月	ハイリスク薬の捉え方
10月	看護記録
11月	感染予防
12月	人工呼吸器の理解
1月	BLSを学ぶ
2月	組織における自己の役割 逝去時の看護
3月	1年間の振り返り



平成30年度入職看護師からのメッセージ



第4病棟 堀内 友華

今年度から看護師として働き始め、命を預かる立場であるため悩みや不安を抱えながらも、知識や技術を少しでも多く身につけていけるよう、先輩スタッフに助けていただきながら日々頑張っています。

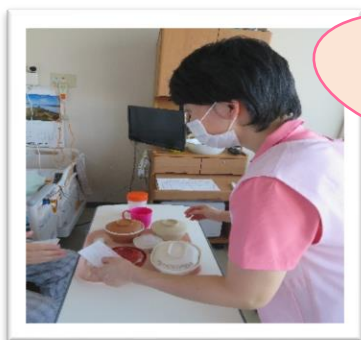
指導や日々の関わりを通して、産前産後のお母さんたちの今後の生活を支えていける看護師となれるよう、一人ひとりにあったケアを大切に励んでいきたいと思っています。



第7病棟 高橋 幸叶 田中涼太
長田 華奈

7F病棟です。当病棟は、循環器科・総合診療科・脳外科・麻酔科の混合病棟です。今年度は新人3人が、頑張っています。ちょっぴり控えめな大和撫子女子二人と、癒し系男子一名です。始めは緊張と生活環境が変わったことから、いっぱいあった三名も徐々にカンファレンスでも発言出来るようになり、少しずつ自信ができてきました。笑顔の絶えない職場で、先輩も温かく見守っています。

一日のスケジュール



お昼です！
どうぞ〜



食事のお世話
お茶・昼食を配膳します。
配茶・配膳・食事介助
摂取量観察・経管栄養

休憩時間(60分)
エネルギーをCharge!
売店のふわふわパン
食べようかな？

カンファレンス
ナースステーションの整理整頓

診察の介助
患者さんの身の回りのお世話をします。
回診・注射・処置
食前薬・他科受診

環境整備
患者さんの身の回りのお世話をします。
保清・体位交換・排泄
更衣・オムツ交換

検温・身の回りのお世話
診察検査の介助
夜に向けての入浴介助など
オムツ交換・シャワー浴
手術患者前処置・記録
各種検査・伝票記入整理

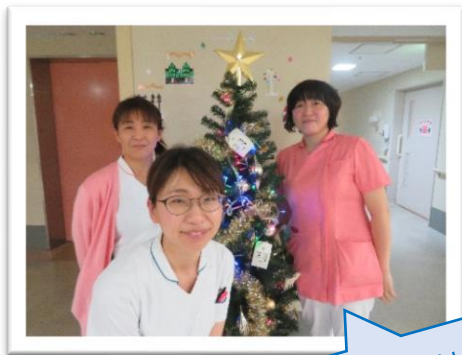


出勤・申し送り
受持ち患者さん割当て
カンファレンス

終業時間
申し送りをして終了です。

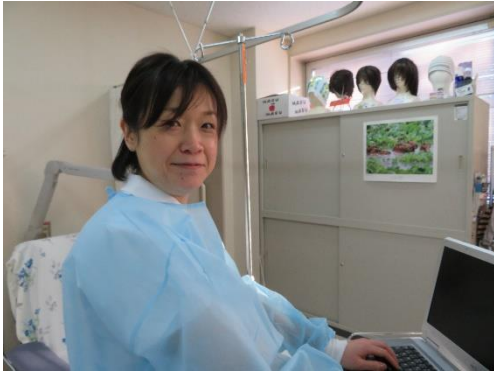
今日も1日
よろしくお願
いします！

頑張ります！



私が作りました！





外来化学療法室
がん化学療法看護認定看護師
西川 真紀

外来通院で抗癌剤治療を受ける患者さんへ点滴の投与管理と副作用対策などの支援を行っています。

自宅で生活する患者さんが、日常生活と治療を両立でき治療を継続していけるようその人らしさを考慮して援助を考えています。

外来であっても繰り返し同じ患者さんへ関わることが出来るため、経過を知って患者さんの辛さや喜びなどを共有することができます。頑張る患者さんを支えることに、自分に求められる認定看護師としての役割とやりがいを感じながら楽しんで仕事ができています。

救急科へ配属される前は他院で働いていたのですが、以前より救急看護に興味があったため、整形外科・泌尿器科病棟を経験し、現在の職場で勤務させていただくこととなりました。現在の職場では主に、内視鏡と救急対応を勉強させていただいております。救急では、歩いて受診する患者さまの緊急度を判定してチームで対応していく事は、患者さまの予後に影響するため非常に重要となります。これらを遂行していく難しさを感じておりますが、救急での迅速な初期対応によって家族と患者の不安軽減に努め、患者さまの状態悪化を防ぎ社会復帰に繋がっていく事にやりがいを感じ日々勉強させて頂いております。

私たちと一緒に
働きませんか？



救急科中央処置室
馬場 章吾



第8病棟
川島 夕里奈

看護学校を卒業してから地域包括ケア病棟で働き始め、2年が経ちました。回復し、元気な姿で「お世話になりました！」と自宅に退院する患者さんもいれば、亡くられる患者さんもいます。

様々な患者さんがいる中で、その方にとってより良い看護とは何だろう？ということを考えながら日々業務を行っています。

毎日スタッフ間でカンファレンスを行い情報共有することで、チーム全体で患者さんへの看護を考えているという実感を持つことができます。自身の経験や技術が不足していて悩むことも多いですが、患者さんとの関わりの中で喜びを得る場面はそれ以上に大きいです。これからも、常に患者さんの目線に立って看護を提供していけるように努力していきたいです。

各部署の紹介



第5病棟



5病棟は、整形外科、泌尿器科、眼科の混合病棟です。3つの科が共に手術の患者さんが多いため、毎日の入退院が激しく、日々バタバタとしている病棟です。スタッフは、毎年新人看護師が配属され、20代のスタッフが多く、忙しい病棟ではありますが、若い力で明るく元気に毎日の看護を行っています。患者さん達は手術が終わると回復に向かう方が多く、回復とともに患者さんの笑顔も増え、その笑顔から私たち看護師も元気をもらっています。これからも、患者さん達の笑顔が増えるよう、みんなでより良い看護を提供していけるように、日々考え続けながら頑張っています。

第6病棟

消化器外科、消化器内科、耳鼻咽喉科、総合診療科の病棟です。消化器内科では、食道・胃・肝・胆道系・腸疾患の内視鏡的治療を受ける患者さんやリウマチにより薬物治療で長期入院を必要とされる患者さんの看護を行っています。

消化器外科では、胃腫瘍・大腸腫瘍・乳腺腫瘍・胆管腫瘍・胆石・胆のう炎・膵腫瘍・虫垂炎・イレウス・鼠径ヘルニアに対する手術療法・化学療法・薬物療法を受ける患者さんへの看護を行っています。また、消化器内科・外科共に、終末期を迎えた患者さんとそのご家族に対する看護を行っています。

耳鼻科では、鼻出血・副鼻腔炎・扁桃腫瘍などの手術の他、突発性難聴、眩暈症に対する薬物療法を受ける患者さんへの看護を行っています。

急性期・慢性期・終末期と様々な患者さんへの看護が求められますので、多忙な部署ですが、患者さんの為に私たちができる看護は何か日々多職種カンファレンスで話し合い、心のこもった看護が提供できるよう日々努めています。また、スタッフ同士が協力・支え合いながら仕事ができ、仕事へのやりがい感・充実感が得られる病棟です。



入退院支援センター

H30年4月より、入院及び退院される患者さんへのサービス向上のため、入退院支援センターを開設しております。MSW3名・看護師5名・看護助手2名の体制で、医師・各病棟看護師・理学療法科・薬剤科・栄養科とも連携を図り日々業務を行っています。具体的には、入院が決定した患者さんと面談をさせていただき、入院時の事務手続きのご案内や療養中の生活についての説明を行い、入院中のご希望などを聞かせていただいています。入院後は早期から、患者、家族が希望する生活の場へ戻れるように、退院後の療養環境の整備、福祉制度や介護サービスについての説明を行っています。

また、地域の施設やケアマネジャーとも連携を図り、患者さんが安心して療養できるように支援を行っています。

看護部委員会の紹介

看護部には、教育委員会、看護業務委員会、看護記録委員会、看護部医療安全委員会、実習指導者委員会、新人研修委員会、看護研究委員会があります。

各委員会は、目的を立て、活動方針に沿って月1回委員会を開催し活動しています。

実習指導者委員会

当院は、北海道社会事業協会帯広看護専門学校を有し、その他、北海道科学大学保健医療学部看護学科や学校法人札幌青葉学園北海道看護専門学校・帯広医師会看護高等専修学校の学生さんを実習施設として受け入れています。看護学生さんがイキイキと自分らしく成長するためのサポートができる環境を提供するため、実習の振り返りや研修会の企画・運営を行っています。今年度も臨床指導者研修を受講した委員が、指導を担うスタッフのための研修会を開催し、指導者の育成に奮闘しています。

平成30年度は新たな取り組みとして、全看護職員対象に学習会を企画・実施しました。今後も、より学生さんが実習しやすい環境づくりのため、新たな取り組みを実践し評価し続けていきます。

臨床指導者研修会



看護部教育委員会

看護部教育委員会は、看護部の教育方針・教育目標に向かって年間計画を立て、研修の企画・担当・終了後の評価を行い、看護師の成長を継続的に支援しています。

◇教育方針

看護部では、看護部理念に照らし合わせ、質の高い看護を提供しうる看護師の育成を目指す。地域住民の健康レベル維持及び向上のために貢献できる人材の育成を目指す。

◇教育目標

- ①看護の実践家を育て、自立(律)的に行動できるジェネラリストを育成する。(自己成長力も含む)
- ②看護に必要な共感力を磨き、優しく温かみのある看護提供ができる看護師を育成する。
- ③患者の健康問題を解決するのに必要なアセスメント能力の強化及び問題解決思考ができる看護師の育成を行う。
- ④地域との連携を図り、切れ目のない継続看護が実践できるための交渉力・調整能力を持つ看護師を育成する。



看護記録委員会

看護記録委員会です。今年度もニュースを年3回発行します。

今年度の記録委員会の一番力を入れる取り組みは、当院で使用している「看護記載基準」の見直しです。看護記録における基礎情報(患者基本)の入力方法の作成をします。患者情報を共有して、より安全にケアを提供出来るようにマニュアルを作成して、啓蒙活動をしていきます。話し合うテーマは難しいですが、委員会の話し合い中はユーモア溢れる意見も出て、和気あいあいとして、楽しい時間を過ごせています。



トピックス

H30年度の看護記録委員会の活動詳細についてお知らせします。

- ①看護記録委員会ニュースは、今回発行のトピックスを含め年3回(7月・11月・3月)の発行になります。
 - ②看護記載基準の見直しを行います。
 - ③看護記録における基礎情報(患者基本)の掲載方法について見直しを行います。
 - ④勉強会を11月に開催予定です。(内容は未定)
 - ⑤記録の監査を行います。
- 委員が自部署の記録を監査し委員会へ報告・検討します。監査内容については自部署の記録委員にお問い合わせください。
- 以上の内容で活動します。

4月からの委員紹介

委員長 高津 真江(F) 副委員長 藤原 由香里(AA)
大木 由由佳(B) 堀江由希(F) 藤村美穂(B)
大山(HP) 青山(4D) 神谷(F) 高野(6F)
瀬戸(TF) 会田(8F)

※看護記録に関する疑問・要望・検討事項などありましたら上記委員までお伝えください。



看護職員の待遇と奨学金制度について

● 看護職員の待遇

- **給与について** (給与は、社会福祉法人北海道社会事業協会病院職員給与規定により支給されます)
 - ・大学卒及び保健師・助産師 基本給 206,200円

- ・短大・専修学校3年課程 基本給 194,400円

- **勤務時間**

- (3交替)

- 日勤 8:30~17:00 準夜 16:30~1:00 深夜 0:30~9:00

- (2交替)

- 日勤 8:30~17:00 夜勤 16:30~9:00

- **休日・休暇**

- 4週8休体制

- 年次有給休暇(初年度4月より16日付与 最大40日間)、結婚休暇7日、忌引休暇、子供看護休暇
特別休暇(夏季休暇3日・メモリアル休暇1日) など

- **加入保険**

- 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

- **諸手当**

- 夜勤手当、特殊勤務手当、通勤手当(2km以上)、燃料手当(例:一人暮らし72,900円)、
扶養手当(配偶者17,000円 子6,000円)、住宅手当(上限29,000円)
※扶養・住宅手当については、個人の生活状況による

- **その他**

- マイカー通勤可能、24時間保育所有り、退職金(1年以上の勤務)、昇給(年1回)、賞与(年2回)

働き続けられる病院を目指し
保育環境を整えています！

職員のお子さんが病気になった
時でも親の付添いなしで病棟で
預かる体制も整えています。

つぼみ保育所

仕事と生活が両立しやすい環境整備
のために24時間の院内保育所が
あります。
生後100日～満4歳までが対象です。
建物が新しいので清潔感があり、
アットホームな雰囲気です。
行事も盛りだくさんです！



● 奨学金貸付制度について

帯広協会病院では、将来、当院の看護職員として勤務を希望される看護学生さんに奨学金を貸与することにより、就学の支援を行っています。
興味のある方、ご希望される方は、お問い合わせください。

- **奨学金貸付要綱**

- 給付期間 3年間

- 月額 50,000円

- ※貸付金を受けた就学期間と同期間当院に就業した場合は、返済免除となります。

- ※給付申請書を提出した日の属する月から卒業する月まで支給します。

- **申し込み書類**

- ①推薦文 ②奨学金希望理由書 ③履歴書 ④成績証明書 等

年度途中の貸付OK！

採用試験要項とインターンシップ・見学について

● 採用試験要項

● 応募資格

保健師・助産師・看護師・准看護師(平成32年3月卒業見込みの方、または、既に国家試験・知事試験に合格されている方で夜勤勤務が可能な方)

● 採用者数

20～25名

● 応募方法

下記の必要書類を病院看護部に郵送してください。

【必要書類】

- ①履歴書(市販の履歴書等)
- ②卒業見込み証明書
- ③成績証明書
- ④国家免許所得者は、そのコピー1部

● 採用試験について

採用試験日程に関しては、随時実施する予定です。応募書類等確認後にご連絡し、日程を決定し実施いたします。

選考方法は、面接試験となります。

● その他

健康診断は採用内定者のみ、後日実施いたします。なお、健康診断で就業不可となった場合は、採用が取り消しとなります。

● インターンシップ・見学について

当院の雰囲気や実際の仕事の様子を肌で感じていただき、今後の進路を選択する際の参考にさせていただきたいと考え実施いたします。

<高校生> 随時(要連絡) <看護学生> 随時(要連絡)

※見学も随時受け付けています。

多数のご参加をお待ちしております！

ご希望のニーズに合わせて、
入職体験が可能！

・帯広協会病院ってどんな雰囲気の病院なんだろう？

・入職してみたら、イメージしていた雰囲気と違ってる!?とならないために

・目指すあの病棟でじっくり体験したい！

● 参加資格

平成32年3月に卒業見込みの方。各学年で1回、お申込みができます。その他のことは相談させていただきます。

● 研修領域

- ・急性期病棟【外科系・内科系・小児、産婦人科(助産師資格取得予定者のみ)】
- ・地域包括ケア病棟

● 申込み方法

希望日、人数、代表者名と連絡先、学校名、体験を希望する部署(第2希望まで)をお知らせください。詳細については、後日ご連絡いたします。

応募、インターンシップ・見学の申込み、お問い合わせ先

〒080-0805 帯広市東5条南9丁目2番地

帯広協会病院 看護部

病院代表電話 0155-22-6600

看護部 E-mail: obi-kango@obihiro-kyokai-hsp.jp

担当 看護部事務 岩崎



Access

病院案内図 帯広市東5条南9丁目2番地



● 主な交通機関

十勝バス 帯広駅より 5分

徒歩 帯広駅より 20分



帯広協会病院

社会福祉法人 北海道社会事業協会 帯広病院

〒080-0805 帯広市東5条南9丁目2番地

TEL 0155-22-6600 FAX 0155-24-7076

<http://www.obihiro-kyokai-hsp.jp>